

2024年10月30日

一般社団法人 日本半導体・エレクトロニクス商社協会 (DAFS)

DAFSユニバーシティ委員会

2024年12月10日(火)開催 DAFS ユニバーシティ委員会主催

『英文ビジネス電子メール』セミナー開催要領

1. 開催日時 : 2024年12月10日(火) 13:30~17:35 (受付開始 13:00 より)
2. 開催方法 : Zoom を使用したオンラインセミナー
3. 主 催 : 一般社団法人 日本半導体・エレクトロニクス商社協会(DAFS)
DAFS ユニバーシティ委員会
4. 受 付 : 当日の 13:00 から受付 (ログイン) を開始いたします。
DAFS より事前に送付する URL よりお入りください。セミナーログイン用 URL は
セミナー開始 3 日前までに申し込み責任者宛にお送りいたします。
5. 講 師 : 牧野 和彦 氏

ナレッジマネジメントジャパン株式会社 代表取締役 / 博士 (経営情報)

前 株式会社クレディセイフ企業情報 代表取締役

<略歴>

早稲田大学卒。米大手企業情報会社を経て、2000年に現在の会社を設立。与信管理のコンサルティングや講演、執筆業務を行う。

与信管理、債権回収、財務分析、海外取引、コミュニケーション等をテーマに1,000回超の講演をこなし、受講者数は20,000名を超える。

日本人で初めてNational Collections & Credit Riskにおいて講演。世界10カ国で英語でのセミナー実績を持つ。東京商工会議所の講師としても活動中。

<著書・訳書>

『海外取引の与信管理と債権回収の実務』 (日本実業出版社)

『海外取引の与信管理と債権回収』 (税務経理協会)

『税理士・会計事務所のための与信管理ガイド』 (中央経済社)

『海外取引でよく使われる与信管理の英語』 (IBCパブリッシング)

『これだけある! お金をかけずにマスターするビジネス英語』 (中経出版)

『eビジネスのリスクマネジメント』 (エクスメディア)

『ダンの企業審査入門』 (日本経済新聞社)

6. セミナー内容(カリキュラム)

1. 英文メールの基本的な構成
2. 英文メールの基本的なフレーズ
3. 返事がもらえる英文メールの 10 のポイント
4. 能動態か受動態か?

5. 日本人の陥りやすい間違い
6. 微妙なニュアンスの差を知る
7. 取引の流れに応じた英文メールのサンプルとそのポイント
 - (1) 資料請求 (2) 見積り依頼 (3) 契約条件の交渉 (4) 提案を断る (5) 発注・受注
 - (6) クレームする (7) お詫びとお礼 (8) リマインダーと督促状 (9) 宣伝・売り込み

7. 受講対象者：英文メールを使用しているが、基本からしっかり学びたいとお考えの方々。
全くの初心者あるいは上級者の方にとってはハードルが高い／物足りないとお感じになる可能性があります。
また、上記内容のとおり、技術的な内容は含んでおりませんのでご了承下さい。

8. 受講料：19,800 円/一人（消費税 10%込、別途請求書発行）

9. 受講申込：下記アドレス宛、e-mail でお申し込みください。

dafs@dafs.or.jp（DAFS 事務局）

<e-mail 記載内容>

- ・受講者名
- ・会社名・所属部署
- ・受講者 e-mail アドレス
- ・連絡先電話番号
- ・HP を見て受講を申し込んだ旨の記載

開催日の 3 日前までに参加に必要なログイン URL 等のご案内を申込責任者宛にメールで連絡いたします。

10. 申し込み締切日：**11月27日（水）** または定員（60名）に達したとき。

11. キャンセル：

キャンセルは 12 月 3 日（火）までにご連絡をお願いいたします。それ以降のキャンセルはお受けできませんので代理の方のご出席をお願いいたします。代理の方のご出席が無い場合でも返金には応じかねますのでご注意ください。

以上